

# 沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学統計・解析委員会

## 【現状】

### 新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（12月13日-19日）の新規陽性者数は、26人（先々週21人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における週あたりの実効再生産数(R)は1.10(95%CrI:0.72, 1.59)（図1）、このうち那覇市の実効再生産数(R)は4.77(95%CrI:0.63, 9.73)でした。また、宮古は0.97(95%CrI:0.03, 5.25)、八重山は0.95(95%CrI:0.03, 4.93)でした。

### 保健所管区域別・市町村別推移

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部9人（先々週4人）、中部13人（先々週17人）、那覇市2人（先々週0人）、南部2人（先々週0人）、宮古0人（先々週0人）、八重山0人（先々週0人）でした（図2）。

北部で感染が拡大していますが、感染経路が不明の事例が多く、まだ広がっていく可能性があります。一方、中部では13人のうち6人が基地関係者であり、後述する在沖米軍における流行の影響が生じています。那覇市では、先週、18日ぶりに新たな陽性者を確認しました。宮古は11月10日以降、八重山は10月28日以降、いずれも1ヶ月以上にわたり新たな陽性者を確認しておらず、市中での流行は収束していると考えられます。

人口1万人以上の市町村別（人口10万人あたり7日間合計）では、多い順に本部町53.1、北中城村18.4、恩納村9.0でした（図3）。本部町では、12月に入ってから14人の陽性者を確認しており、とくに先週は7人と感染の勢いが増してきている可能性があります。

### 渡航者関連

先週の新規陽性者のうち、疫学調査で渡航歴を認めた者はいませんでした。

### 推定感染経路とワクチン接種歴

保健所の疫学調査によると、先週の新規陽性者26人の推定感染経路は、職場8人（31%）、家庭6人（23%）と家庭と職場の順位が逆転しました。職場感染のうち5人が基地関係者であり、基地内における感染対策の強化が求められる状況です。なお、不明・調査中は7人（27%）と増加傾向です。また、ワクチン接種歴を聴取したところ、2回接種16人、未接種（12歳以上）9人、対象外（12歳未満）1人でした（図4）。

### 療養場所

県医療本部によると、先週の新規陽性者26人の療養場所は、12月20日時点において、入院中11人（42%）、ホテル療養中10人（38%）、自宅療養中2人（8%）、入院調整中2人（8%）入院勧告解除後1人（4%）となっています。沖縄県では、できるだけ家庭内感染を減らしていくため、入院またはホテルでの療養を個別に勧めています。

### 入院患者数推移

入院患者数は、先週末（12月19日時点）で14人と、1週間前の7人より倍増しています。ただし、酸素投与など中等症患者は4人と1週間前より1人の増加です。気管挿管など重症患者は、11月10日以降は県内で発生していません（図5）。

## 米軍基地における発生状況

米軍当局からの報告によると、先週の新規陽性者は、キャンプハンセン 186 人、嘉手納基地 6 人、キャンプフォスター 3 人、キャンプコートニー 1 人、トリイ通信施設 1 人、不明・確認中 1 人の合計 198 人でした（図6）。海兵隊の基地であるキャンプハンセンにおいて大規模な集団感染が生じています。米軍は変異株の同定をしていますが、次項のように、キャンプハンセンの従業員においてオミクロン株の感染を確認していることから、オミクロン株による急速な感染拡大が発生しているものと考えられます。

## オミクロン株の発生状況

キャンプハンセンの基地従業員など関係者において、新しい変異株であるオミクロン株の感染者が発生しています。12月18日と19日の2日間、キャンプハンセンの基地従業員らに呼び掛けて、593 人の方々に検査を受けていただきました。その結果、これまでに4人の感染者を確認しています。これらの方々については入院にて加療しており、濃厚接触者にはホテルに入って健康観察に協力いただいています。

## 【今後の見通しと対策】

沖縄県では、北部と中部において小規模ながら流行が持続していますが、那覇市を含む南部、離島では小康状態が続いています。ただし、家庭内感染の比率が減少し、職場感染が増加していることから、地域で拡がりつつある可能性があります。

今後も緩徐な増加傾向が続くものと推定し、今週の新規陽性者数は25-50人と見込みます。一方、入院患者数については、やや増加して12-14人と見込みますが、オミクロン株の感染者は全例入院の方針としていることから、さらに増加する可能性があります（図7）。

キャンプハンセンにおいて、オミクロン株によると考えられる集団感染が発生しています。基地従業員など関係者において市中での感染が確認されており、デルタ株と比して感染力が増しているとされることから、急速な感染拡大とならないよう抑え込んでいくことが必要です。

すでに、キャンプハンセンの基地従業員の方々には検査を受けていただいています。基地内の陽性者と接触のあった方々、周辺の飲食店従業員の方々には、無料で実施していますので、県が設置する検査所にて検査を受けていただくようお願いいたします。

その他、症状のない方で検査を希望される方は、

安価に検査が受けられる「PCR希望者検査促進事業」の受託検査機関を活用してください。症状がないにも関わらず、検査希望で救急受診をされないよう、くれぐれもお願いいたします。

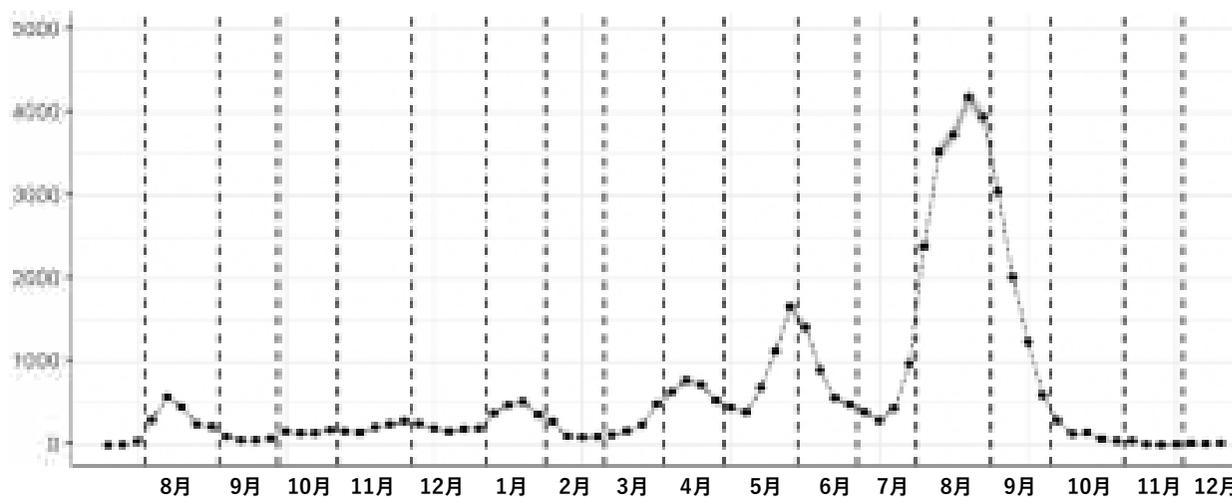
一方、症状のある方については、学校や仕事を休んで、外出を自粛してください。症状に応じて医療機関を受診してください。軽微な場合や検査だけを受けたい場合には、薬局で販売されている医療用検査キットで確認する方法もあります。

# 図1 陽性者数の推移と実効再生産数（北部、中部、南部）

## 陽性者数（確定日）

週あたり観察値

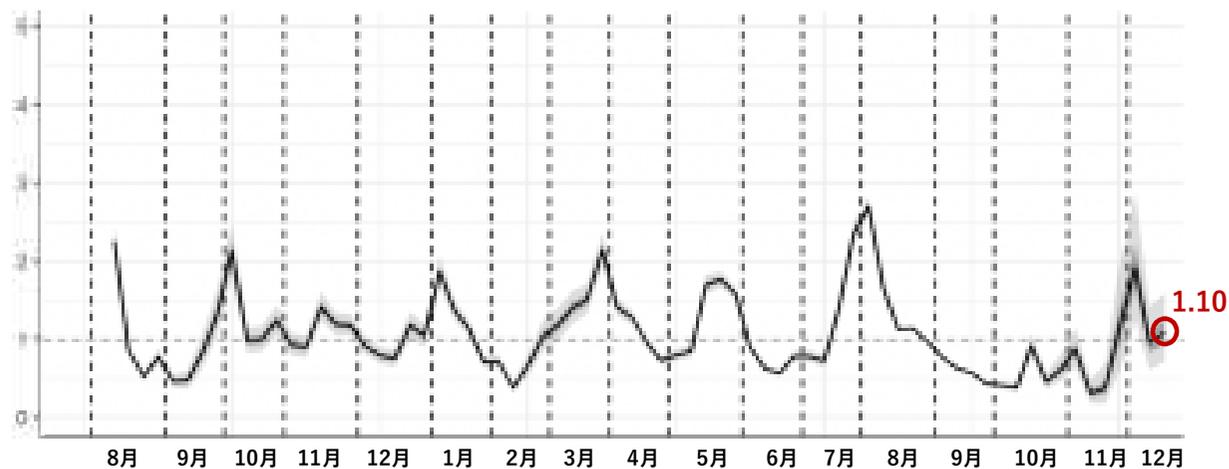
北部、中部、南部医療圏  
（宮古・八重山を除く）



## 実効再生産数

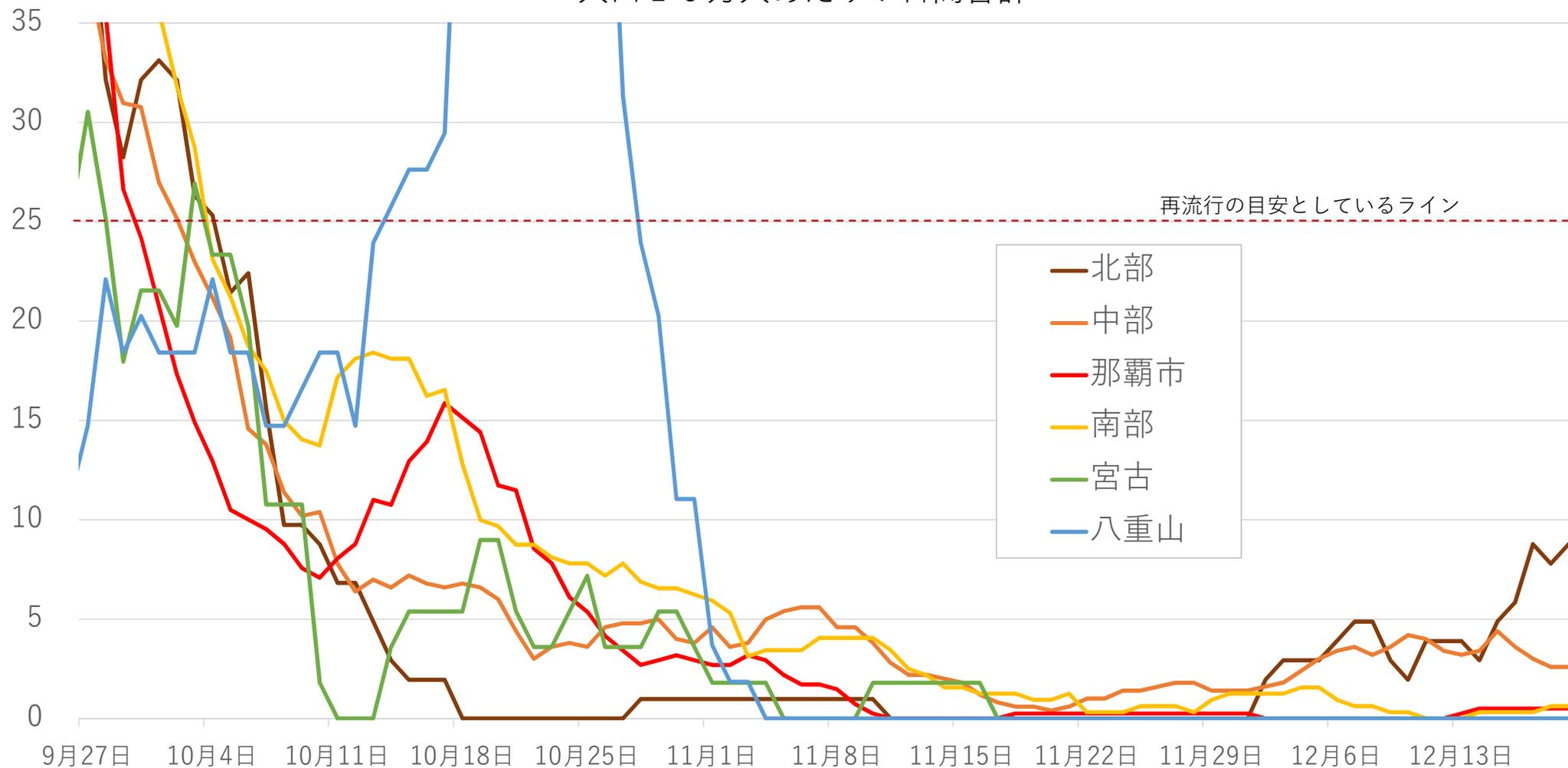
週あたり推定値

北部、中部、南部医療圏  
（宮古・八重山を除く）

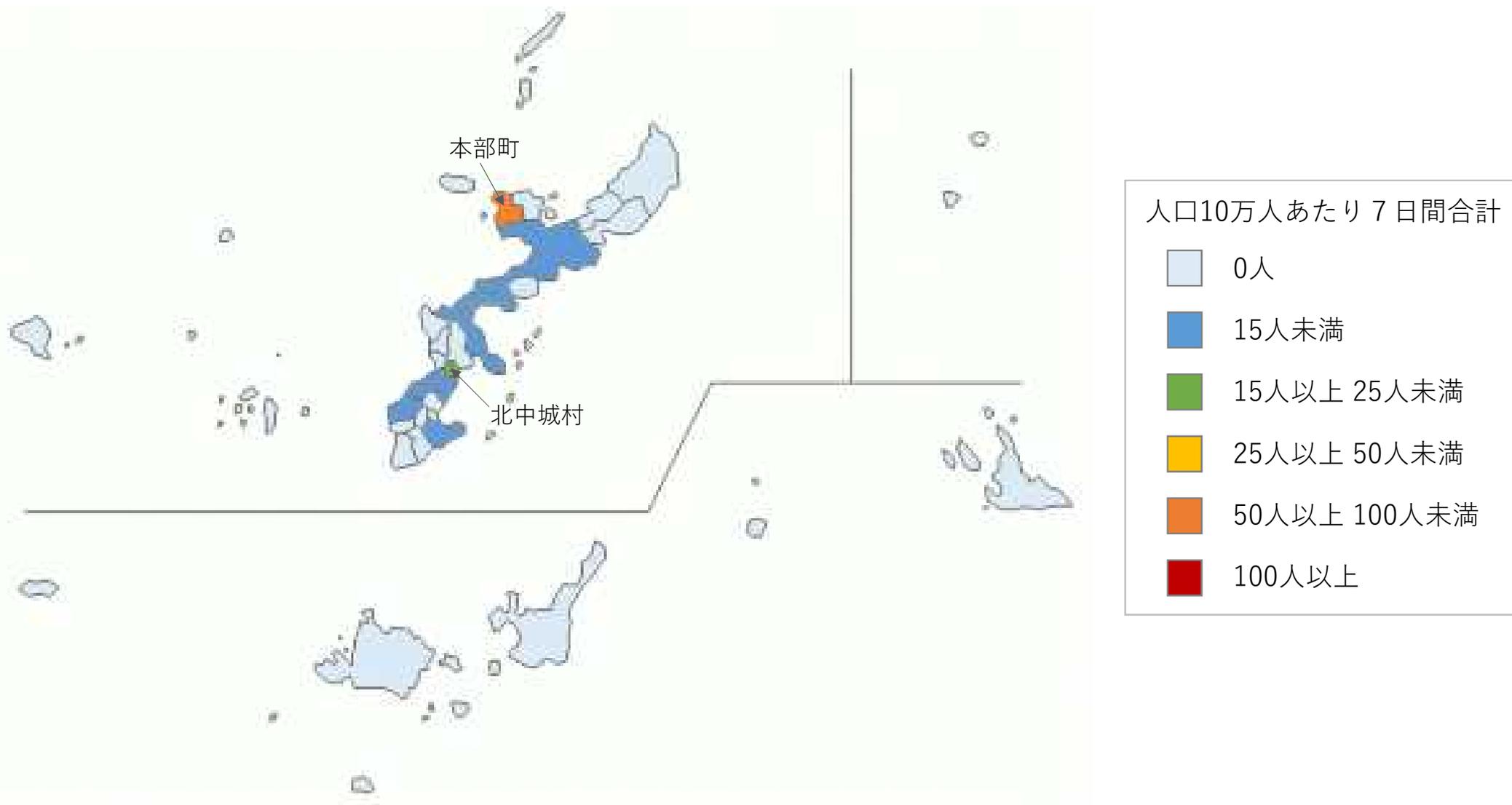


# 図2 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移

人口10万人あたり7日間合計

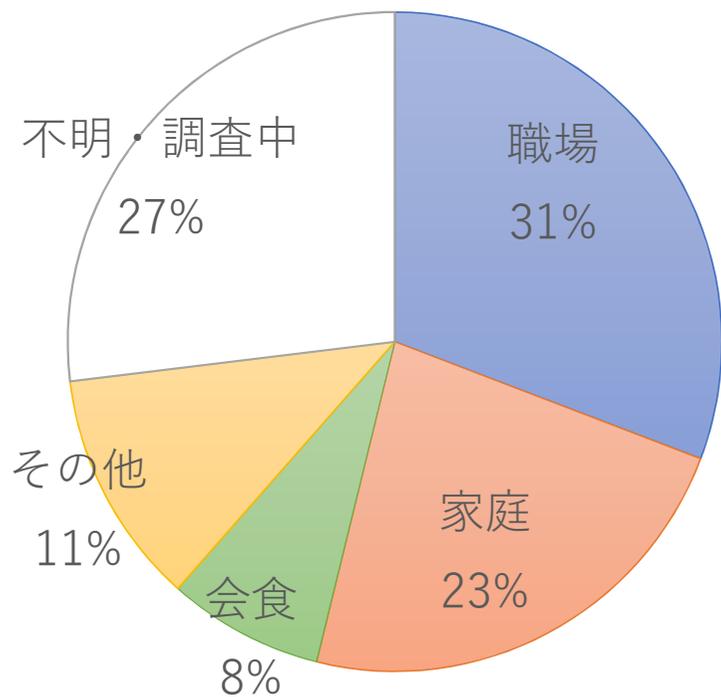


# 図3 沖縄県・市町村別ヒートマップ（12月13日～19日）

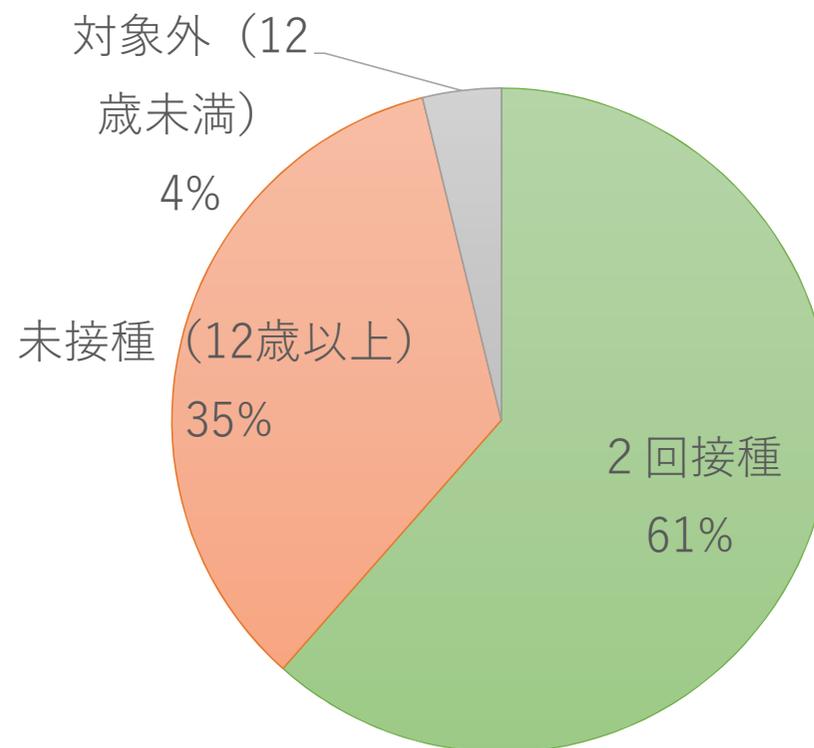


# 図4 推定感染経路とワクチン接種歴 (12月13日～19日)

## 推定感染経路

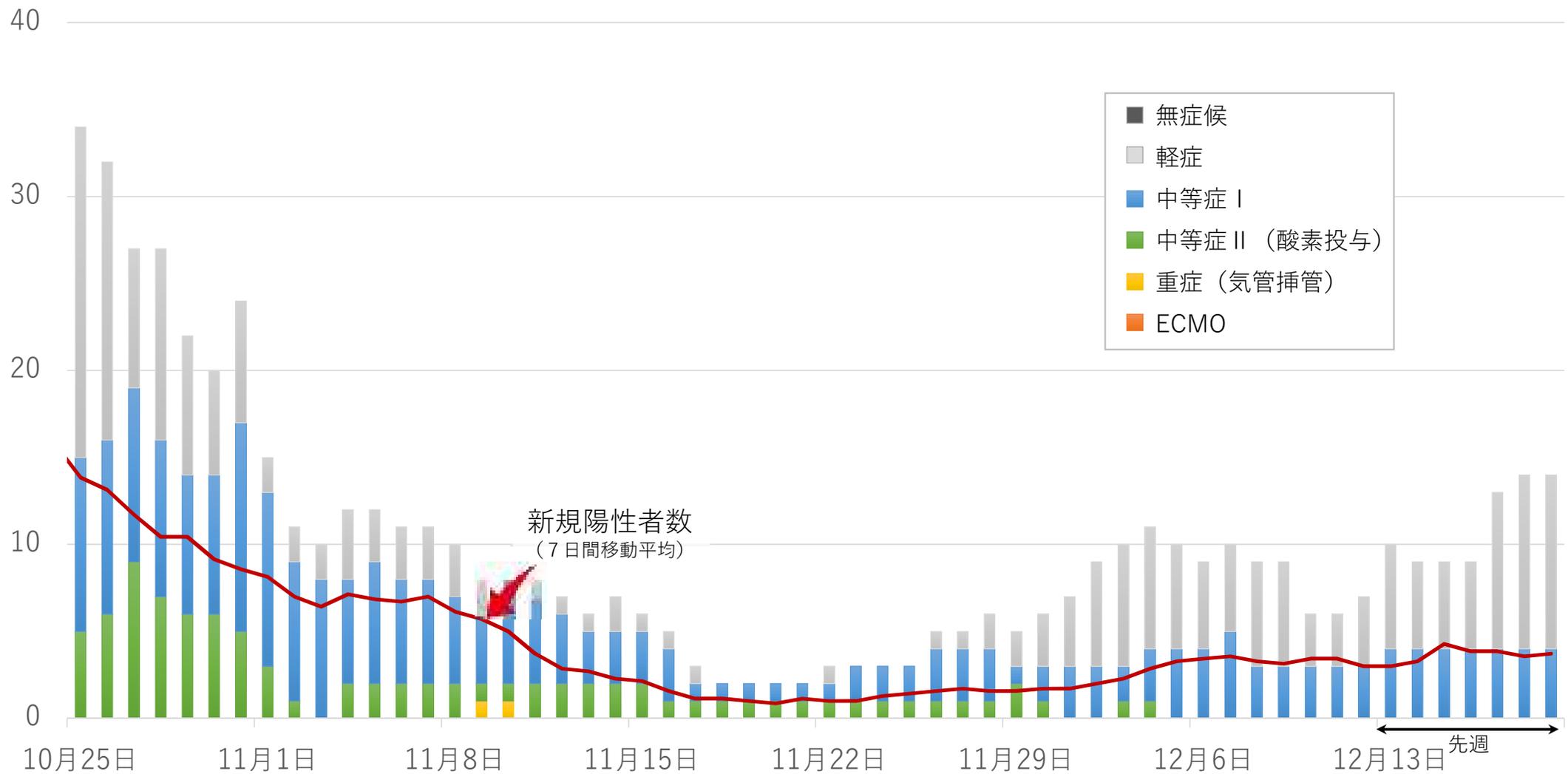


## ワクチン接種歴



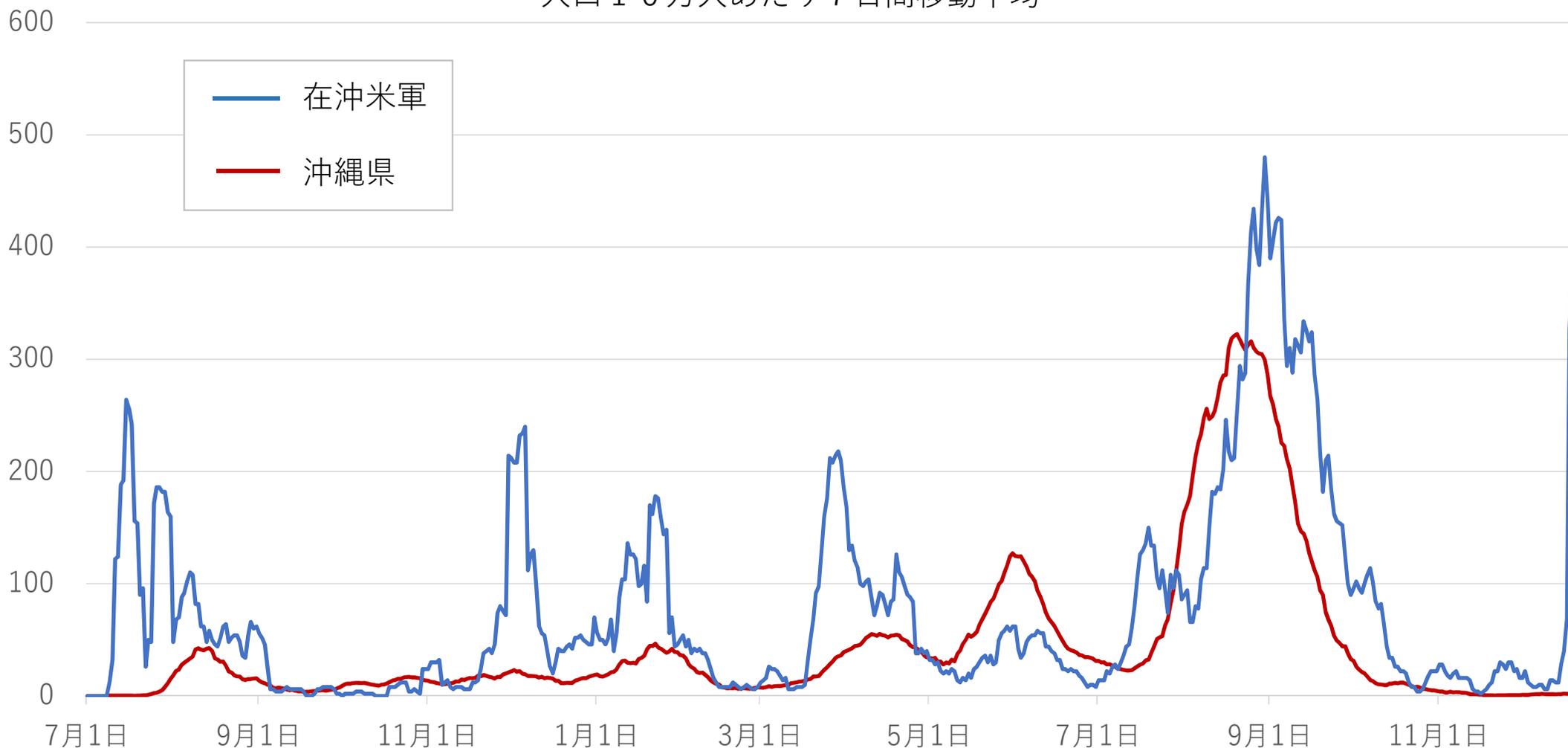
n=26

# 図5 新規陽性者数および重症度別入院患者数



# 図6 在沖米軍と沖縄県における新規陽性者数の推移

人口10万人あたり7日間移動平均



データは在沖米軍公表および沖縄県報告に基づく

# 図7 今後1週間（12月20日-26日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県  
 年齢群別重症化率； 厚生労働省  
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）				入院患者数※				重症患者数※			
	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0
<b>北部</b>	4	8	16	32	5	5	6	7	0.1	0.1	0.1	0.2
<b>中部</b>	6	13	26	53	4	4	5	7	0.1	0.1	0.2	0.3
<b>那覇市</b>	1	2	4	8	1	1	1	2	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>南部</b>	1	2	4	8	1	1	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>宮古</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>八重山</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>合計</b>	<b>12</b>	<b>25</b>	<b>50</b>	<b>101</b>	<b>11</b>	<b>12</b>	<b>14</b>	<b>17</b>	<b>0.2</b>	<b>0.3</b>	<b>0.4</b>	<b>0.6</b>

※ 12月26日時点の見込み数

沖縄県疫学統計・解析委員会